

# 九州地方の火山活動解説資料 (平成 17 年(2005 年)の活動)

福岡管区気象台  
火山監視・情報センター

## 九州地方および山口県の活火山



- : 噴火した火山
- : 活動が活発あるいはやや活発であった火山
- : 解説を掲載した火山
- : その他の火山

この資料は、気象庁のデータその他、大分県、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、阿蘇火山博物館のデータを利用し作成しています。

この火山活動解説資料は、気象庁 HP (<http://www.jma.go.jp/>)、福岡管区気象台 HP (<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>) に掲載しています。

次回の火山活動解説資料の公表は、2月7日(火)の予定です。

月別活動状況 (九重山、霧島山、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島は2月から火山活動度レベルの提供を開始)

火山名	平成17年(2005年)											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
九重山 記号レベル												
阿蘇山 記号レベル												
雲仙岳 記号レベル												
霧島山御鉢新燃岳 記号レベル												
霧島山御鉢 記号レベル												
桜島 記号レベル												
薩摩硫黄島 記号レベル												
口永良部島 記号レベル												
諏訪之瀬島 記号レベル												

## 概 況

九重山[静穏な状況 (火山活動度レベル1)<sup>注1</sup>]

火山活動に大きな変化はなく、静かな状態で経過しました。

阿蘇山[やや活発～活発～やや活発 (火山活動度レベル2 3 2)]

4月にごく小規模な噴火があり、火山活動は一時活発になりました。中岳第一火口の湯だまり量は増減を繰り返し、5～9月には火口底で赤熱現象を観測するなど、火山活動は年間をとおしやや活発でした。

雲仙岳[静穏な状況 (火山活動度レベル1)]

火山活動に大きな変化はなく、静かな状態で経過しました。

霧島山 御鉢 [やや活発な状況 (火山活動度レベル2)<sup>注1</sup>]

火口縁を越える噴気を観測するなど、噴気活動はやや活発でした。噴気は次第に収まる傾向です。

霧島山 新燃岳 [静穏な状況 (火山活動度レベル1)<sup>注1</sup>]

火山活動に大きな変化はなく、静かな状態で経過しました。

桜島[比較的静穏な噴火活動 (火山活動度レベル2)]

噴火\*は17回、うち爆発的噴火は12回ありましたが、桜島の火山活動としては比較的静穏な状態で経過しました。

薩摩硫黄島[やや活発な状況 (火山活動度レベル2)<sup>注1</sup>]

噴火はありませんでしたが、噴煙活動と地震・微動活動は一時期やや活発でした。

口永良部島[やや活発な状況 (火山活動度レベル2)<sup>注1</sup>]

火山性地震のやや多い状態が続き、2～4月には新岳北側で噴気が時々観測されるなど、火山活動はやや活発でした。

諏訪之瀬島[活発な状況 (火山活動度レベル3)<sup>注1</sup>]

噴火を繰り返すなど火山活動は活発でした。年間の爆発的噴火回数は46回でした。

\* 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発的噴火もしくは一定規模以上の噴火の回数を計数しています。

注1) 九重山、霧島山(新燃岳、御鉢)、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島では、平成17年2月1日から火山活動度レベルの提供を開始しました。

**平成17年の火山情報発表状況は各火山の解説資料に掲載しています。**